（五日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料（雜報欄行五十錢 場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

奇怪千萬の政爭
吾人は之れを忌む

◎現在の政爭は日本としては嘗に前代未聞のものである、昭和戊辰の新政の令然無き義となすものである。殊に一方が議會中心政治を高唱すれば他方が皇室中心主義らしきものを力說するに至つては、誠に以て奇怪千萬といはねばならぬ。桂內閣當時も寺內內閣時代も超然內閣と政黨內閣との是非得失の議論に花をさかせたが現在の爭ひも標榜する名稱は如何に異なるとも實體に於ては政黨內閣も超然內閣の是非の論に異ならない。

◎日本に於ては政治現實其他一切が皇室を中心とすることは何人も異論はない。唯皇室は謙遜の美德を發揮されて人民中心主義なるが如く思惟せしむるもあるが、之れ我が國特有の美點にして民は君を以て本とし君は民を以て本とし兩々相讓りて各其の功に居らず、兩者相俟つて君民同治の美果を擧ぐるは、實に描けども成らざる風景である。今更何の痴漢ぞ或は英米流デモクラシイを讃美し、或は全國民の尊崇の對象たるべき皇室を我物顏に掲げ出さんとするとは。

◎皇室中心は主權論に關する限り既に問題たるべき筈のものではない。一切の問題は問題たる限り肯定と否定とを豫想するもの肯定と否定との二者擇一以前の自明の理は超問題的のものであらねばならぬ、果して然らば現在の政爭の中心問題は政道の實體に關するものでなく、明かに政治の運用に關するものである。而し政治の運用に關する限りに於ても政友會と民政黨とは同一見解を持するといはねばならぬ。借問す現內閣及び與黨の選擧第一主義と民政黨の議會中心政治とは果して全然異別のものたり得るか。而も政道の實體に於いて全國民は皇室中心主義の一信念に徹底し、且つ政治の運用に就いても政友會は選擧第一主義を力說して自黨議員の頭數の多數を求め、民政黨も多數黨の內閣組織を主張する意味にて議會中心政治を唱ふるとせば二者は當初より爭ふべき問題を有しない。災るに此問題を提げて相爭ふに至つては政權慾に眼眩せる黨人の頭腦の錯亂も亦極まるといはざるを得ない。

◎併しながら彼も多數國民の信念ならんとしつゝある政治運用上の議會中心政治は果して如何なる場合に於ても成立て得べきものか、また成立せしめて差間へなきものか吾人は此の點に就いて多大の疑ひなきを得ない。現に日本に於ては英國と異なり辭職する內閣の首班が後繼內閣の組織者を推擧するの慣例すら成立しない。管て大隈侯が「總選の士」として加藤伯を推薦して失敗したではないか。政治運用上からいへば如何なる人々が內閣を組織すべきかに就いては議會よりも首相より西園寺公が一層の發言權を持つて居る。之は理論でなくて政治運用上の實際である。加之政治運用上の實際からいへば現在では政友會も民政黨も勢力相等しきを以て、多數政治は表面的であつて、實は少數黨專制時代である。議會中心政治ではなく、武藤中心政治、尾崎中心政治、然り而して無產黨中心政治でもある。讃美すべき議會中心政治なるかな。

明日の吉凶
舊曆二月十六日　新曆四月六日

△一白　日頃の精力現れ來る日氣緩みを生ずるなかれ△二黒　天の加護ありて立身出世する日萬進んで吉△三碧　次から次と手に餘る夢の湧き出で來る日△四緑　心に充たすとも迷ふべからず飲食物を注意△五黄　至誠を以て人に對するときは名利共に擧がる△六白　和して愛あれば求めずとも引立に逆ふべし△七赤　飢ゑる者を見れば人の事と思はずに自省すべし△八白　陰閣の域より陽明の地に出でし心地する日△九紫　自分勝手に走り易き日口舌爭論注意のこと

講談　閻に閃く男達 (56)
高田渓川作　尾崎雪磨畵

醉漢をこらす

翌日午過ぎ妓樓を立出ると品川天王宮の祭禮だつたどこと目的のない大八郎であるから天王宮へ參詣する境內に出てゐるいろ／＼な店の間を戾る折假かにワツといふ騷ぎ何事かと向ふを見れば十二分に醉つた二人の武士が太刀を引き拔き群集の中を暴れ廻つてゐるのである、町人の騷いで逃げるを面白がつて追ひかけ廻すそれが爲め多少怪我人も出來、おもちやの店はふみこはされる、錦繪を廣めて賣つてゐるその上土足でつかる、又はのぞきからくりの屋臺が押したほされて山根太夫の顏へ穴があくといふ始末で境內の騷ぎは一通りではない

「ア、これ／＼御武家酒に性根を奪はるゝとは何事ぞ、サア／＼早く刀を鞘に納めなさい」

秋月大八郎は見兼ねて醉どれの武家を制した

「エーいふな」

突然一人は大八郎に斬つてかゝつた、ヒラリと體をかはして小手を打つたから、ポロリ眞劍を取り落し小刀の柄へ手をかけようとする所を透かさず當身をくれたからウーンと目を廻した

「おのれ朋友へ手向ひいたしたな」

今一人が同じ斬り込むを体をかはしあばらをけつたからこれも目を廻す、二人を水屋の脇へ連れ來り刀を鞘に納め二人の傍に置いた

「サア／＼もう皆心配には及ばん、こうやつて寢かしておけばよい」

「どうも有難うございました」

「御武家さんすみません、どうも有難う存じます」

町人は口々に禮をいふ

「どうも御武家大きに有難う存じます、境內を血で汚す樣なことありては祭もこのまゝやめになり多くの者が難儀をいたさねばなりません、それを取押へ下さいまして有難うございますが二人の死人が出來ました甚だごめいわくなれど檢視の下りまするまで御待ちを願ひ度う存じます」

神官はそれへ來り今立去らんとする大八郎を引きとめた

「イヤ／＼心配されるな、アレハ一時殺しであればその中にいきを引き返すであらう」

「それでも若しあれきりになりますと困ります」

神官は心配をする

「それではちよいと活を入れてやらう」

二人の武士に活を入れ水をふくみ、ブーツと顏へふきかける、ブル／＼身ぶるいをしたがまるで豆鐵砲を食つた鳩の樣に、目ばかりパチ／＼やつてゐる

「コレしつかりせよ」

大八郎は氣をつけた

「ハイどうも面目次第もございません拙者は西國……」

「イヤ／＼お主名をお名乘りなさるに及ばん、ご姓名もお名乘りなさるな、親あれば親御の恥、第一かやうなことに主名をお出しなさるは不忠でござる、拙者も姓名を名乘らんからあなた方もお名乘りなさるな拙者如きやせ浪人が御意見申すは失禮御注意まで申上げるが貴公方は酒の上が甚だよろしくない今後はなるべく酒をおつゝしみなさい」

「イヤ實に恐縮のいたり、これにこりて以來は大酒はいたしますまい」

二人の武士はほう／＼の態で群集の中へ紛れて姿をかくした

大八郎は境內を出て茶店のならんでゐる前まで來ると

「エツお武家さん少々お待ち下さいまし」

よび止めたものがあつた

廣告

鼻のクスリ　チクノール錠
痔の最高內服藥　ダイサン錠
平町五丁目角　山野邊藥局

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

四月五日替り　超特別大興行
タキセード喜劇アルゼンジョン氏主演　珍發明騾馬列車　全二卷
大河內傳次郎　新生命開拓映畫　[illegible]
葛木香一、久米譲、櫻木梅子……助演
脚色…野田高梧、監督…野村芳亭
縣下の史實　白虎隊　琵琶　大原錦凌　特別出演
原作岡本一平　主演小泉嘉輔　助演　根岸東一郎　夏川靜江
人の一生（連續、第一編、人間萬事金の卷）
日活松竹　高級常設　平館　電四六六
土曜日曜學生デー　料金普通

平町紺屋町　吉田眼科醫院

女給さん募集
月。收。多。大。
女ゲーム取り十五歲から廿歲まで素人も可
御希望の方は御來店下さい。
平町仲田町　マルトビリヤード

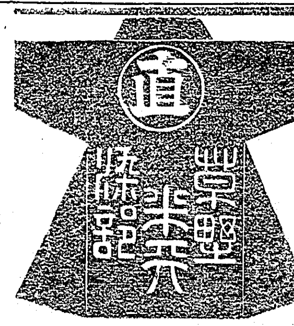
夜間診療
胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部
梅毒　淋病　婦人病、皮膚病　專門　外科部
平南町　松村病院　電話一〇七

食用鳩新入荷
優良食用鳩として定評ある
北米產　カルノー種　ホワイト、キング種
北米テキサス州から直輸入本日入荷致しました。愛好者各位に御飼育をお薦め致します。其の他內外の珍鳥名鳥が取揃へてあります。
平町田町本通り　ベニヤ小鳥店

生徒募集
▲和服一般　▲婦人小供洋服　▲小笠流禮法
▲池ノ防生花　▲其他手藝　▲特設夜間教授
平町銀治町　阿部裁縫塾　電話二六四番

耳鼻咽喉科專門
入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院　平町南町（電一七〇番）

日東のラジオ
最新高級のラジオ製造販賣　並に部分品提供
當分の間奉仕的破格値段
三球セット取付共
A　百貳拾五圓
B　百　圓
C　七拾　圓
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町　日東商會　電話四二八番



◎徒弟入用　徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候
金牌一等賞受領　數回
磐城國平町　草野染工場　電話三四八番

平町田町　高久病院　電話五一〜三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

內科　小兒科　皮膚科　花柳科
平町舊城跡（城山）　青沼醫院
醫學士　青沼淡夫　電話四〇三番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋　(久)釜屋商店　諸橋久太郎
電話九一番　一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

內科、小兒科　花柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町　電話平局五〇七番

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社　平出張所　電話六〇三番　五四一番

鐵筋コンクリート　鐵骨組立　和洋建築　文化式建築　設計監督
土木、建築、請負業　合資會社　丸三森川組

熱海溫泉都市株式會社　東京丸ビル三七八

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい
平町五丁目（釜屋橫町）　須藤まつの

神谷農試分場で 理想の農村建設

毎月一日講習會を開き 農民の實地指導

神谷農試分場では從來各季節に適應した各種の農事傳習會等を開催して常に郡農會當局と共に當地方農村の向上啓發に資して來たが近年本郡地方を東北のデンマークたらしむべく過般郡農會當局の如きは農村の理想郷化の計畫をさへ發表するに至つたので此に鑑み今後は更らに一段の努力を注ぎ當地方をして名實共に理想の農村郷實現に努める事となり此の第一着手として毎月一回次の如き日割に依つて農事傳習會を開催する事に決定したが從來日割は傳習會開催の直前に發表してゐた爲め聽講者の如きは僅に一局部にのみ限られてゐたが今後は全郡下に亘つて充分聽講の便が與へられた譯である

四月五、水稻苗仕立方に就いて、高根技手△五月四、自給肥料の効果と製造法に就いて高崎技手△六、二日　稻作に於ける水稻肥料に就いて田中技手△七月二日夏期に於ける病蟲害の豫防と驅除に於いて伊藤技師△七月卅一日　秋作蔬菜の栽培法小橋技手△八月廿九日　家庭園藝に就いて稻田技師△九月廿八日　麥類の有利栽培に就いて高根技手△十月廿六日冬期に於ける果樹園の監理に就いて稻田技師△一月の蔬菜類の軟化と促進栽培同技師△二月　農具の使用法と選擇に就いて佐本技師△蔬菜の苗床に就いて小橋技手　以上

本縣土木建築組合總會

十五日平町で

本縣土木建築請負業組合第廿回大會は來る十五日午前十時より平町元郡會議室に於て開催する事となつたが時恰も松ケ岡公園の櫻もチラホラ綻び初める頃であり非常な賑ひを豫想されてる

愈々來る十五日で 獵天狗總仕舞

ことしは存外悪かつた 石城地方の獲物

石城郡地方の獵天狗連の活躍するものは、きじ、やまどり、まなぐま、たら、かはうそ、かもしか、きつね、たぬき、てん、むさゝび、りす等の狩獵は去る二月末日で禁獵となつたがこの他の狩獵法に依る狩獵鳥獸も亦た十五日を以て禁獵となるのでこれが納めと山野は天狗連で埋めてゐるが今年の獵は何んなであつたか、消息通の語る處によれば前年と較べ今年は渡り鳥が多く又前年は諒闇の關係で狩獵者少き爲め鳥類の繁殖は近年見ざる好成績であると最初の掛聲はよかつたが解禁以來今日までの成績は餘り面白からず前年と大差なく特に獸類は最近極度にその數を減じ流石の天狗連もこれには少からず打しほれて居る、而して狩獵者は禁獵鳥獸名及び頭數を記入して所轄署に屆け出る事になつてゐるがこの屆出を怠る者非常に多いから期日內に必ず屆出るべしと

擔任の適否

小名濱校・內部評

小野生

職員にも生徒にも、一ケ年の總勘定たる年度末の仕事も無事に終へると、學期初めの準備に取り掛らねばならぬ、即ち年度初めの計劃に校長初め各訓導共に、一ケ年の計劃に向つて精進するので誰彼の區別なく、忙はしさは實に夥だしい、就中校長は其適者をして學級の擔任を命じねばならぬ此れが最も大學のスタートである、各訓導も如何に準備が必要だと云ふても擔任が決定せぬでは、とても計劃の立てようもないと云ふ仕業である、

西山校長はその點に行くと教育界に珍らしい、卓識の士で、人物を見るの明亦透徹して居る、人材の配列その當を得ると得ざるは、學校經營上尤も重大事の爲である處から矢鱈に發表を忽諸にせぬのであつたが、愈々四月一日からと云ふのでその發表を見た、校長の配列決して不服はない、只父兄側から代表した見立てを云ふと多少の意見も出る、今少しく言はしむる、咎むる事ないように願ひたい、素より私見であるを批評されたからと云ふて、校長の意志でない、容量を以て讀むに貰へたい。

◎尋一男擔任

尋一男二學級此れに配屬した受持先生は松本（龜）先生と關根先生である、根本先生は十年一日の如く學年の餓鬼大將で通して來た。然るに二年度は二年の男を擔當した決して不適任ではないが、一年受持の樣に適材適所ではなかつた、校長がその長所を見てもその古巣に持つかを配らせるに至りしきは敬服した、殊に先生は教員俱樂部の常任幹事を務めてその手配り起居實に堂に入つたもので、一年擔任の餘裕を俱樂部の仕事に廻し教員間の親睦を圖る唯一の機關士である事に想當する毎に敬意を表すべき次第である。

關根先生の尋六擔任から尋一男擔任とした校長の肚裏一寸親へ難い、尋六は高齡年の級で之を受持つた所心には何れも氣癖がある、その氣癖をヨソに一年とがら落ちは餘り才氣縱橫の士でなしと調子が取れ惜い殊に關根先生の性格から見て茲に遺憾のない轉校か自由であるか否か、木から落ちた猿の樣に餘りに調子外れの手持不沙汰を化し去らねばよいかと氣を揉むのは、筆者だけでもあるまい

松本善嗣先生高一の受持ちが尋一女を化つた、元來女性的に出來揚つた先生は尋一から持ち上り下尋常科を卒業せしむるまで努力すると實に先生の人格に私淑した（淑德の女性が出來揚るであらうと思はれる、殊に音樂にかけては造詣深くその堪能と來ては本校中恐らくは右に出るものもない程である

松崎とり先生、尋五男女合併級から尋一女受持となつた、先生は師範本科を出しまた、二年先づ師範出のホヤ／＼と云ふ處だが相當大校の先輩達に指導されて手について來た教育振りと稱されて居る、尋五の男女受持はチトおやふまれたのであるが、兎も角やり通して成功と云ふ程度である尋一女受持は初めて秩序的に兒童教養の手心を体得しようと云ふ順席である（續）

隔離規定を改正して 惡疫未前防止

天然痘に脅れた當局が 疑似患者も收容

石城郡地方民をして恐怖せしめた天然痘騷ぎも漸く終熄と共に平靜に復したが本縣令に依つて制定された天然痘患者隔離規則は從來眞症と判明した者のみを隔離病舍に收容する事に規定されて居たが、過般石城地方に猛威を逞しふし全縣民をおびやかした天然痘の蔓延を未然に防止す方法に就て縣衞生課では調査中であつたがこれが最善の方法としては先づ眞症と疑似とを問はず一旦これを隔離舍に收容し充分檢診の上眞症にあらざること判明した後に於て自宅診療をなさしむることが最も安全にして然も惡疫の蔓延を防止する効果最大なると云ふことに意見一致したので近く同縣令の一部改正をなし今後は疑はしき患者も容捨なく隔離する事となつた

磐城炭坑內で 男女工夫慘死

落盤の下敷き

內郷村宮磐城炭礦後山婦千葉ヨシ（二七）相馬郡新館村生れ當時內郷磐城炭礦先山夫庄司平七（三五）の兩名は去る三日午前一時頃同炭礦町田竪坑に入坑採炭作業中俄然大音響とゝもに方坪大の落盤あり逃げ遲れて兩名その下敷となり無慘な壓死を遂げた平署七海部長出張檢視の上で屍体は各れも家人に引渡した

數量では殖えたが 賣上價格減少

去年二百八十八萬圓の 濱三郡の漁獲高

石城郡、双葉、相馬の濱三郡に於ける昨年の漁獲高は總數量五百二十三萬百七十二貫でこの價格二百八十八萬七十五圓であるこれを前年に比ぶると數量にたいて百七十二萬餘貫の增量を示し價格においては單價安のため數量增加の割合に少く七十萬餘圓に過ぎなかつたその內部別に見れば最も多いのが石城郡で數量四百六十萬一千二百十六貫この價格二百四十五萬八千九百十五圓で總額の八分通りを占めてゐる次ぎは相馬郡三十六萬三百四十三貫で價格は二十二萬八千四百十二圓双葉郡が廿六萬八千六百十三貫で十九萬二千七百四十九圓となつてゐるこれを各漁類別に見れば鰹の七十二萬餘圓が筆頭で次ぎは鰈が卅七萬圓で鯛、ヒラメ、サンマなどの順である

各寺院聯合の 花祭り

平全町を托鉢

石城郡下各寺院聯合釋尊降誕花祭りは來る八日午後二時より元石城郡會議室に於て子供の爲めの會合を催し菩從院住職桐原英純氏司會の許に當番の遂宗派代表が灌佛式を擧げ東京市小石川區養國寺住職野口龍心外數名の童話があり同夜一般の人の爲めに記念講演會を催し光明寺住職國田德應氏司會に當り前記の灌佛式を終へてから松洞院住職宍戸正勝其他數名の講演があるが、右花祭り費用に當てる爲め各僧侶は三日より平全町に亘り托鉢をなしてゐると

月刊常磐公報

前星製藥株式會社宣傳部長大和田虎雄氏の主宰する月刊「常磐大衆」は五月號より創刊の運びになつたが平町驛前高野氏方に事務所をおき前時事新報平通信部長藤豐氏が社務に當る筈である

木炭を庫から盗み 貨車で送る犯人

直ちに尻が割れて 平署に捕はる

當時住所不定無職栃木縣矢板町生れ前科一犯吉田熊太郎（五二）は去る二日夜磐越線川郷驛前草野米彌方裏手の倉庫から木炭十四俵代約三十圓を竊取し四日午前八時頃湯本町木村藤八宛に發送すべく同驛前丸通運送店に依託したが同運送店は被害者米彌が經營してゐた爲め忽ちに尻が割れて御用目下平署に引致の上で嚴重取調

四倉職業卒業

石城郡四倉町磐城郡女子職業學校では五日午前十時から第七回卒業式を擧行すると今期卒業の優等生は六名で何れも管理者より例の如く特賞を授與されたと

平町昨今の 標準物價

木炭は下落

平町當局の調査に依る今五日現在平町市場に於ける日用品の標準物價は

△白米一升三十五錢、二等三十四錢、三等三十三錢

△白麥廿一錢、平麥十九錢で前月と同價

清酒一圓、砂糖白十六錢、味噌八十錢、醬油六十錢、和白十四錢、黑十錢、牛肉上六十錢、中四十錢、豚肉上五十錢、三十錢で各〻も前月と同じ

△木炭楢丸一貫匁三十四錢割二十六錢、雜二十九錢で各れも三錢安

此れは木炭不需要期に入つたのと生産激增とに依るものである其の他各れも前月と殆んど變りない

花信販ふ 松ケ岡公園

花見衣に前景氣

三日の夜をこめて降りしきつた銀花の雨に洗はれて枝頭ほのかに見へ初めた平町松ケ岡公園新川端の櫻は今後引續き春の慈光に惠まれて來る八日の日曜には些か早いが忠魂祭の十日頃から一輪二輪の早咲きを見せて十五日の日曜頃からは雪崩込む人の群に世は漸く三春行樂の場面が展開されるであらう而して二十一日の土曜日から二十二日の日曜へかけては所謂散りもそめず咲きも殘らぬ爛漫の繪卷を現出して物騷な天然痘終熄後の平町に春ならでは見られぬ一種の歡樂氣分を漲らせることゝ想像される、而も東部電力の斡旋に係る新川端や公園の廣告燈は既に大部分の募集を了し今五日を以て締切りゝ上それ／＼咲き加減を見計らつていつでも點火出來るばかりに諸般の手筈が定つてゐるので雪を欺く照明裝置と相俟つて滿山の花間に點綴する雪洞の美觀や花のトンネルを流るゝ新川の流心に映發する電光の繪の如き情景はけだし既定の豫賞として今度日かの夜毎に見らるゝわけである新田町の花見裝束も既に到着したし花を當て込んだ新妓の頭數も大体にたいてきまつた平町の花見は斯くして遺憾なくその仕度が出來上つた

本郡産馬の 中寺糶

成績は良好

石城産馬畜産組合では去月三十日から三日まで五日間深渡村大字中寺に於いて糶庭を開いたが糶馬三百頭總取引高二萬七千八百九十六圓と言ふ近年稀れな賣高を示し最高三百圓最底廿圓中

△牡馬 一等會田政治、二等阿部伊之吉、三等加藤一郎

△牝馬 一等若松龜吉、二等佐藤諒、三等若松善吉

つた、因みに優良馬の入賞者は次の如くである

（前段）見込で內九十二圓の割合で此れまた不況の爲め氣支はれてゐただけで成績頗る良好であ

三井呉服出品

郡山の博覽會へ

平町三丁目三井呉服店では東北織物の權威として愛用されてゐる仙臺平が技術進歩の結果益々時潮に適した理想的優良品を製織するに至つたので目下郡山市に開催されてゐる全國商工博覽會へ仙臺平を出品してその宣傳に努めてゐるがその他ネル地木綿等の代表的實用織物も出品してゐる

將來の希望を胸に 六百名の學童

磐中、磐女、平商業校 けふ晴れの入學式

磐中、磐女、平商業各學校の入學式は今五日午前九時より夫れ／＼型の如く擧行されたが新入學の喜びを胸に秘めた六百名の男女學童は夫れ／＼父兄に伴はれ定刻までに詰めかけた、各校長より入學校の種々な注意や訓話があり着席等を決め制服や制帽の落ち付きに小さな氣を揉む擧動も愛らしく各々青雲の將來に向つて燃ゆる希望と誇りを滿面に漂し乍ら家路についた

かみくづ

新田町久本から三日ほど前お披露目した梅香と云ふ堀り出し若い提灯と惡口をチャンポンに御紹介いたします、何がさて江戸村の眞ン中、新川、新堀、茅場町きつての酒の大問屋の娘に生れたのが幸か不幸か、子供の時から大酒飲みで女學校に入つた頃既に人間離れの酒豪となり朝一升、授業初めに一升、放課後一升、晩一升と一日四升を平げねば否が動かないと云ふ危介千萬な代物になつたのが初まりで親の諫めも聞かずたよし町△△家から藝者に出た、爾來春雨秋風六ケ年死んだ加藤高明さんや若槻さん、田中總理大臣を初め天下の顯官巨頭、待つた新富座邊の馬の足や幕引き連の間を往來した強の者だが平に來て以來久本のオッカアーに固く此の大酒を止められた客の顏さい見ると「妾しに酒を與へざるは生を奪ふよりも酷だわ」と目ばかり挫らしてゐる、南無阿彌陀佛々々々

入社

大越一夫

右の者本社營業部員として四月一日入社

磐城新聞社

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

嶄新ノ魁
春物ノ準備ガ出來マシタ
婦人洋傘
春ショール
子供洋服
ワイシャツ
合シャツ
春着中折
種々店內ニ陳列シテ有リマス
鶴屋商店
電話百四十番

土地建物賣却廣告
平町三丁目三十一、三十二番地宅地二百坪（建物共）右賣却致度候間希望者は平町三丁目組合代表小野伊佐治に御相談被下度候
平町三丁目共同組合

開店御披露
今度皆樣の御勸めにより料理店を開業致しました
美味、廉價、迅速
御來客樣に御滿足を與へんが爲朝鮮美人數名が歌舞を以て御接待致します
朝鮮 支那 西洋 料理
平町研町一二
高麗亭
電話呼出七五〇番

製パン開始
謝恩大賣出し
四月五日より九日まで（五日間）
期間中五十錢以上御買上の方に一割に相當する景品を進呈致します
パンズ　一個　五錢
松本パン　同　五錢
クリームパン　同　五錢
ジャムパン　同　五錢
ウズマキ　同　五錢
アンパン　同　二錢
其の他數種
ふつくらとして柔らか　飛切たいしい松本のパンをぜひ御試食下さい。
マツモト
平町四丁目（電話二一四番）

可愛いゝお子樣の
通學用防水マントの
大特賣！
男子用　一、五〇ヨリ　二、六〇マデ
女子用　一、六〇ヨリ　二、七〇マデ
あかや洋服店
平二丁目（電二〇三）